

沿革

| 年度 | 大学院 | 学部 | 出来事 |
|------|--------------------|--------|---|
| 2006 | | 生体医工学科 | <ul style="list-style-type: none"> 大阪工業大学の電気・機械系教員と外部から加えた教員で生体医工学科を新規開設し、バイオメディカルコース（6研究室）とロボティクスコース（7研究室）を設置 バイオメディカルコースは以下の6研究室でスタート <ul style="list-style-type: none"> 生物物理（吉浦教授） 生体電子工学（宇戸准教授） 生体システム（橋本教授） 医工学（望月准教授） バイオメカニクス（森田講師） バイオマテリアル（欠員） 森田講師が退任 |
| 2007 | 生体医工学専攻 | | <ul style="list-style-type: none"> 大学院生体医工学専攻を新規開設 バイオマテリアル研究室に藤里教授が着任 |
| 2009 | | | <ul style="list-style-type: none"> 望月准教授が退任 |
| 2010 | 生体医工学専攻 生命工学コース | 生命工学科 | <ul style="list-style-type: none"> 生体医工学科バイオメディカルコースを生命工学科、ロボティクスコースをロボット工学科として独立開設、生体医工学専攻は継続（コースとして分離） 生体情報・分子生体機能学研究室を増設するとともに、バイオメカニクス研究室に代わりナノメディシン研究室を設置し、それぞれ松村教授・芦高教授・外波准教授が着任したことで以下の8研究室でスタート <ul style="list-style-type: none"> 生体情報（松村教授） 分子生体機能学（芦高教授） 生物物理（吉浦教授） 生体電子工学（宇戸准教授） バイオマテリアル（藤里教授） ナノメディシン（外波准教授） 生体システム（橋本教授） 医工学（欠員） 生命工学科としてカリキュラムを策定 橋本教授が退任 |

| | | | |
|------|--------------------|-------|--|
| 2011 | 生体医工学専攻 生命工学コース | 生命工学科 | <ul style="list-style-type: none"> • 医工学研究室に代わり機能性食品研究室を設置し、川原教授が着任 |
| 2012 | | | <ul style="list-style-type: none"> • 生体システム研究室に代わり食品微生物学研究室を設置し、大島教授・大森講師が着任したことで以下の8研究室となる <ul style="list-style-type: none"> • 生体情報（<u>松村教授</u>） • 分子生体機能学（<u>芦高教授</u>） • 機能性食品（<u>川原教授</u>） • 食品微生物学（大島教授・<u>大森講師</u>） • 生物物理（吉浦教授） • 生体電子工学（<u>宇戸准教授</u>） • バイオマテリアル（<u>藤里教授</u>） • ナノメディシン（<u>外波准教授</u>） • カリキュラムを改定し、食品衛生管理者・食品衛生監視員養成施設として登録 |
| 2014 | | | <ul style="list-style-type: none"> • 工学部共通教育のカリキュラム改定に伴ってカリキュラムを改定 • 工学部総合人間学系教室の健康体育研究室と連携し、卒業研究が可能に |
| 2015 | | | <ul style="list-style-type: none"> • 有機・バイオエレクトロニクス研究室（生体電子工学研究室と共同運営）に金藤教授が着任 |
| 2016 | | | <ul style="list-style-type: none"> • <u>生物プロセス工学研究室</u>を設置し、長森准教授が着任したことで計9研究室となる • 健康食品管理士認定校となり、受験資格の取得が可能に |
| 2017 | | | 化学●環境●生命工学専攻生命工学コース |